

# フンエン便り

7月号

平成27年7月1日

ARCベトナム校発行

## 俳句特集

6月2日(火)～4日(木)の社会文化適応研修で俳句を作る活動を行いました。クラスの代表作品の中から、川口先生、遠藤先生に優秀作品を選んでいただき、6月19日(金)の授業後、表彰式を行いました。

最優秀賞…「太陽や ひまわり咲くよ 夢叶え」

8組 ルー・ティ・マイ



説明…き語は「ひまわり」で、きせつは夏です。太陽はずっと明るく光ります。ひまわりの花がきれい、強く咲きます。日光に向かいます。その花のように、みんなの夢を強く叶えようという意味で作りました。

◎希望にあふれていて、とても力強いです。(川口)  
◎ベトナムの太陽の色の黄色と、ひまわりの黄色の類似点を表現し、明るさを強調しています。元気で前向きな感じをよく表しています。(遠藤)

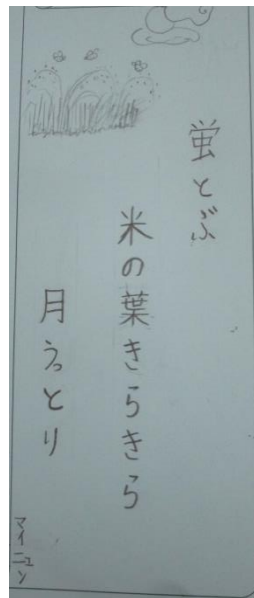
感想…「5-7-5」の音を数えて作るの難しいですが、とてもおもしろかったです。私の名前を呼



ばれて、びっくりしました。こうほしやのみなさんに、私の俳句を伝えるチャンスをくださったって、ありがとうございます。

優秀賞…「蛍とぶ 米の葉きらきら 月うっとり」

6組 マイ・ティ・ニユン



説明…いなほのとき、たはたで蛍がたくさんとぶ。月光の下で米の葉と蛍の光がキラキラするほど、きれいになります。

◎「米の葉」は「木の葉(コノハ)」でしょうか。でも、「米の葉(コメノハ)」でも、いいです。田んぼのホタルなんですね。「きらきら」が「きらら」だったら、最優秀賞です。(川口)

◎「稲」を「米の葉」と表現し、柔らかさが表現されています。夜に蛍が舞う様子を月がうっとり眺めている。「月」の擬人化が秀逸です。惜しいのは、蛍と月、輝くものが2か所入ってしまった点。どちらかに焦点を定めるともっと良かったかも。(遠藤)

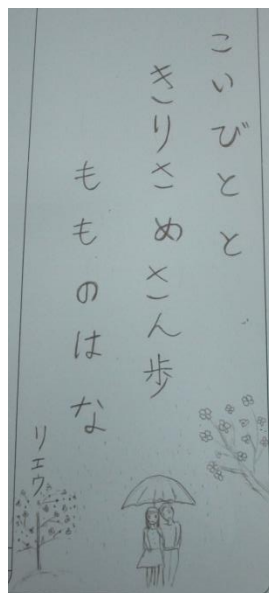


感想…はいくは17字しかありませんが、はいくを読んだときは

ろいろな物を考えます。私ははいくをつくるのは日本のしせつの仕事に役に立つと思います。賞がとれてびっくりしました。私はとてもうれいんです。私のはいくは、まだかんぺきではありませんが、これから、もっといいはいくが作れるようにがんばります。

優秀賞…「こいびとと きりさめさん歩 ももの花」

9組 チン・ティ・リエウ



説明…季語は「ももの花」で、季せつは春です。春にきりさめがたくさん歩みます。こいびととさんぽしていいしうらいをねがいます。

◎「きりさめさん歩」がわずかに二語で状況を描写していて、きれいです。(川口)

◎「きりさめさん歩」のリズムがいいですね。春を迎えてうきうきと、霧雨をもともせず、二人で相合傘で歩く感じが表現されています。(遠藤)

感想…じゆぎようで はいくを作って、とても面白かったです。だんだん日本の社会文化



がわかるようになりました。しょうをとって、とてもうれしかったです。先生とみなさん、どうもありがとうございます。

特別賞：「梅が咲く 縁側の前 父に会う」

3組 チャン・ティ・マイ・ジエン



説明：季語は「うめ」で、きせつははるです。春になると、かくちで花がさきます。家族としゅうこうするといういみで作りしました。

◎テトの情景でしょうか。久しぶりに田舎に帰ったという感じですかね。懐かしさが出ています。(川口)

◎庭で梅を見ていたら、お父さんも梅を見たくなくて、奥から縁側に出てきたのでしょうか。ストーリー性を感じさせる作品です。(遠藤)



くらいです。

感想：じゆぎようではいくを作って、父と母のことを思い出しました。しようにとって、とてもうれしかったです。泣きたい

以下、4位からの作品です。

第4位：「夏の夜 井戸の水の月 同じ顔」

7組 グエン・ティ・トゥイー

◎静かな夏の夜の風景ですね。井戸の水が冷たそうで、清涼感があります。(川口)

◎井戸に浮かぶ月と空にある月を同じ顔と表現し、うまくとらえています。「夏の夜」がダイレクトすぎたのが惜しい。(遠藤)

第5位：「花が咲く 遊べ遊べと 燕たち」

10組 グエン・カック・キム

◎生き生きとした軽やかな動きが出るので、「ツバメ」とカタカナ表記のほうがベターです。(川口)

◎「遊べ遊べ」がリズムカルで心地よいです。春の明るい様子を表現しています。(遠藤)



佳作：「ゆきふるに ひとりですわる あすおもう」

4組 チャン・スアン・チン

◎「ひとりですわり」にしてほしかったですね。「ゆきふるに」の句は、短い中に緊張があり、わざと書いたとしたら秀逸です。(川口)

◎「雪」の白さと「まだわからぬ明日」の白さが重なった表現で上手さを感じさせます。白い

世界で将来に思いをはせている様子が目に浮かびました。(遠藤)



佳作：「フオンの花 見るなかまの目 なみだある」

5組 レー・ティ・ニヤム

◎「見る友の目になみだあり」だったら、選ばれていました。惜しい。

◎ベトナムの赤い花と友達の涙から、どんな涙なのだろうと、想像力をかきたてられました。(遠藤)

佳作：「梅の花 花が落ちると 母おもい」

12組 チャウ・ティ・ニユン

◎「花」が重なっちゃいましたね。「梅の枝花が落ちれば母想う」とか「梅の花落ちると見えて母想う」とかだときれいですけどね。(川口)

◎梅の木のまえでお母さんを想って「会いたい」と考えている情景がうまく表現されています。(遠藤)



佳作：「風が吹く 静かな林 せみがなく」

2組 レ・ズイー・ファン

◎わるくないですよ。林の静けさにセミの鳴き声が吸い込まれていく感じですよ。

「静けさや岩にしみいる蟬の声」と同じね。(川口)

◎静かな林を、汗を流しながらも気持ちよく散歩している様子が「絵」として表現されています。(遠藤)

